

長崎県知事賞

技術革新・人材育成部門



受賞者名：荒木 あらかき 和也 かずや

市町名：五島市

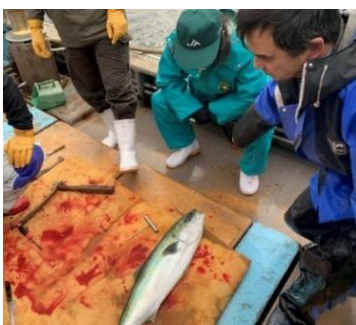
主な取組：漁具改良による水揚増大と魚価向上の取組による経営力強化及び地域水産業への貢献

1. 取組の概要

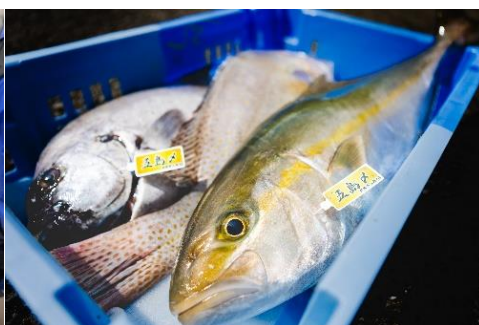
- ①父から継承した小型定置網の魚が入りやすい構造への改良、定置網の増統、網汚れ防止対策による水揚量の増加と労力削減に加え、出荷魚の神経締めによる鮮度保持などに取組んできた。なお、神経締めを施した魚の中でも、さらに目利きし厳選した魚のみを「五島メ（ごとうじめ）」としてブランド化する取組を推進している。
- ②地元の奥浦地区においては、魚市場出荷時に使用する発泡スチロールを再利用可能なプラスチック製容器へ転換することを提案して実現し、さらに神経締め講習会の開催や神経締めに使用するワイヤーの開発・導入により地域へ鮮度保持技術を普及し、魚市の仲買人から高い評価を得ている。

2. 受賞理由

- ①定置網の魚取部分の構造や網の高さを変えるなどの改良や、定置網の増統を行うことで水揚量を増加させ、さらに水揚げされた漁獲物の鮮度保持と付加価値向上のために神経締めを施すなど新たな取組を行うことで、水揚額を継承時の3倍にまで引き上げ、新たに2名の雇用を創出した点などが高く評価された。
- ②特に力を入れている神経締めにおいては、金属加工業者と試行錯誤を繰り返し、変形せず作業性が低下しない形状記憶合金製の専用ワイヤーを開発するとともに、地域への技術普及にも取り組むなど、水産業の振興に寄与してきた。



神経締め講習会の様子



厳選した「五島メ」の魚



魚市出荷用プラスチック容器